

魅力たっぷりの海洋高校をのぞいてみませんか？



【漁業士会との交流事業において採取したヒトデを、堆肥化する研究でジャガイモを収穫したところ(12/3)】

キーワードはダブル3S

学習3S

海 : Sea、船 : Ship、水産物 : Seafood &

取組3S

S : 進路保障、S : 集中実習、S : 資格取得

“ 1%の可能性があればかけてみたい！

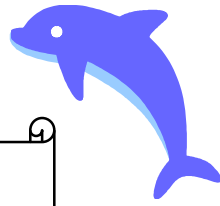
1%でも可能性があるのなら必ずつかんでみせる！”

レスリング世界選手権1999、2005、2006チャンピオン 正田 絢子



京都府立海洋高等学校





番号	項目	ページ
1	進学	2
2	就職	7
3	クラブ活動	10
第1回配布分		
4	学科・コース紹介	15
5	資格取得	20
6	多様な実習	21
第2回配布分		
7	施設・設備	30
8	指定事業	33
9	研究発表	35
10	ボランティア活動・生徒会活動	38
第3回配布分		
11	小中高連携事業・サタデー広場、学校開放講座	45
12	特徴的な取組	47
13	体験学習参加者感想	50
第4回配布分		
14	先輩からのメッセージ	55
15	その他の報道	59
16	黒潮寮（男子寮）	65
17	下宿（男子・女子）、18 保護者からのたより	67
今回配布分		



14 先輩からのメッセージ

(1) 北部中学校出身生徒 (19年度在籍)

ア 海洋高校に入学してよかったことは何ですか。

- ・ 実習など他の高校では体験できないことができた。(城南中出身1年)
- ・ たくさん海のことや船のことが学べたし、週1回は実習があり、やりがいがある。友達もできて、部活も楽しい。(橋立中出身1年)
- ・ 何事にもチャレンジできるようになった。(大宮中出身1年)
- ・ 水産基礎の実習でカッターが漕げる。みんなで協力すると楽しくて速く進めて気持ちがいいです。(養老中出身1年)
- ・ 友達が増えた。近くの友達もいれば、大阪や京都市内から来ている友達が出来て色々な話ができる。友達の幅が広がった。(宮津中出身1年)
- ・ 先生方の強い指導のおかげで自ら進んであいさつができるようになった。学力がかなり上がった。(江陽中出身1年)
- ・ 先輩が分からないことを教えてくれて優しい。(日置中出身1年)
- ・ ダイビングが楽しい。(宮津中出身2年)
- ・ 資格にとってもどん欲になれること。先生が生徒に対してとても熱心に接してくれること。(白糸中出身2年)
- ・ 今まで挑戦できなかったことにたくさん挑戦できるようになりました。(由良川中出身2年)
- ・ 野球と勉強の両立ができた。(宮津中出身3年)
- ・ 先生と何でも話せる。(養老中出身3年)



イ 海洋高校の自慢は何ですか。



- ・ 海がすぐ近くにあるのでマリンスポーツができる。カッター部、ヨット部、ボート部などなど。(養老中出身1年)
- ・ 専門的なことが学べる。資格がたくさん取れる。(橋立中出身1年)
- ・ 様々なボランティア活動に積極的に取り組んでいる。(白糸中出身1年)
- ・ 先生たちが熱心に指導してくれたり、クラブ活

動で実績を上げています。(城北中出身1年)

- ・ 実習、プール、ボランティア活動、部活(大江中出身1年)
- ・ 就職率、進学率が高い。(和田中出身1年)
- ・ 礼儀正しく、いい子が多く、まじめな先生が自分が間違っていたらしっかりと正してくれる。(青葉中出身1年)



- ・ 水深10mのプールがある。(青葉中出身2年)
- ・ ダイビングや測量などたくさんの実習があって楽しい。(青葉中出身2年)
- ・ 食品工場でいろいろなものを物を作って売ること。(網野中出身2年)
- ・ 栽培棟のチョウザメ!かわいい。(城南中2年)
- ・ 航海実習で夜、イカ釣りをしてその場で船員さんが調理して下さり食べました。とてもおいしかったです。実習船で漁獲された雑魚も付加価値を高めるために加工食品(てんぷら)を作りました。作り方を覚えれば家でも調理できます。(栗田中出身3年)

ウ 後輩へのメッセージを!!

- ・ 楽しいし部活動も活発なので海洋高校に来てね。(江陽中出身1年)
- ・ 先輩も面白い人ばかりで楽しい。みずなぎの船員さんも楽しい。(城北中出身1年)
- ・ 海のことをたくさん学べます。将来、海の仕事に就きたい人は是非海洋高校へ入学してください。(青葉中出身1年)
- ・ 海に興味のあるなしに関係なく、自分が大きく成長できる場所だと思います。(大宮中出身1年)
- ・ 体を動かしたり、海が好きな人は是非見学に来てほしいです。(栗田中出身1年)
- ・ 実習がたくさんあり、授業も楽しい。水産に関する設備が整っている。資格もたくさん取れて後々役に立つと思う。「海洋高校」はよい学校です。(大宮中出身1年)
- ・ 実習が好きな人、自然が好きな人は特に楽しい学校です。進路に悩む人もいると思うけど、自分の行きたい高校に行けるように頑張ってください。(城北中出身1年)
- ・ たくさん資格が取れて就職が有利になります。他校とは違った体験ができる。どのク



ラブも一生懸命にやれば結果が残せる。(由良川中出身1年)

- ・ 中学校で今現在成績がオール3に達していなくても海洋高校で頑張れば勉強に対する関心や態度は変わってくると思います。残り少ない中学校生活を楽しんで進路も納得のいく答えを出して悔いを残さず卒業してください。(城北中出身1年)

- ・ なりたい自分を見つけられる。水産ならではのスポーツや体験を楽しめる。(由良川中出身2年)
- ・ 先生が親切で色々な面で支えてくれる。中学校の時、成績が上がらず後悔している人は本当にこの学校で自分の力を伸ばすことができる。(青葉中出身2年)
- ・ 海が好きな子!!魚が好きな子!!友達をたくさん作りたい子!!優しい先輩や先生が待っています。(養老中出身3年)

(2)南部中学校出身生徒(19年度在籍)

ア 海洋高校に入学してよかったことは何ですか。

- ・ 海や山が近くにあり、今までと違う環境で勉強や部活に取り組める。(男山中出身1年)
- ・ 海洋高校では色々な実習をできる機会があり楽しいです。勉強の面でも中学のことも教えてくれるので分かりやすいです。(西城陽中出身1年)
- ・ いろんな人に出会えた。部活が楽しい。(長岡第4中出身1年)
- ・ 中学のときはけんかばかりして、ちょっとしたことでもすぐにキレていたけど海洋に入学してからそれも無くなりました。(西京極中出身1年)
- ・ 寮に入っていて人間関係の築き方を学び、規則正しい生活が送れるようになった。(朱雀中出身1年)
- ・ 普通科では習わないことなど専門的なことを学べる。数々の発見があった。(大阪市立矢田西中出身1年)
- ・ 同じ目標を持った人と仲良くなれることです。(殿田中出身1年)
- ・ 授業や進学補習などが充実していて学力が上がった。(郁文中出身1年)
- ・ 海洋高校に入って自分が人間的にまだ未熟なことに気づいた。(大久保中出身2年)



- ・ よい仲間に出会えたこと。(月輪中出身2年)
- ・ 寮生活で友達ができる。釣りができる。(春日丘中出身3年)
- ・ 親元を離れるため自信がつく。(大住中出身3年)
- ・ 水産系国立大学への進学が可能。
- ・ 自分にあったコースを選択できます。同じ水産でも、船、ダイビング、養殖など分かれているから楽しい。(桃山中出身3年)

イ 海洋高校の自慢は何ですか。

- ・ 取得できる資格が普通科高校よりはるかに多い。〔例〕潜水士、栽培漁業技術検定、危険物取扱者（丙種・乙種1～6類）、アーク溶接、気象予報士、小型船舶操縦士、海上特殊無線技師など（朱雀中出身1年）
- ・ 近くに海がある。資格がたくさん取れる。（旭陽中出身1年）
- ・ 自分は船舶コースなのでやっぱり、新潟や神戸まで運んでくれた実習船みずなぎです。（東宇治中出身2年）
- ・ 大きな船やたくさんの魚を飼育できる施設、様々な実習ができること。（大原野中出身3年）
- ・ 普通科の授業内容と違い夢を持つことができる。（安祥寺中出身3年）
- ・ 海が近く潮風を感じながら学習できる。（上林中出身3年）
- ・ 資格がたくさん取れるし、卒業後国公立大学に進む人も多い。（寝屋川市立第一中出身2年）

ウ 後輩へのメッセージを！！

- ・ 海、船などに興味があるなら入学したら楽しいと思うし、そうじゃなくても実習などが楽しめる。（北稜中出身1年）
- ・ 自分は海洋に来てレスリングを始めて、近畿大会にも出られた。みんなにも可能性がある。諦めずにがんばれ。（西京極中出身1年）
- ・ 何も目標を持たないで行く普通科の学校よりも充実した学校生活を送れると思う。海、船、魚が好きな人は海洋高校に来て後悔しないと思いました。（男山中出身1年）
- ・ みんなに流されて普通科に行くより思いきって海洋高校に入学し、自分を大きく成長させましょう。（郁文中出身1年）
- ・ 専門的なことが学べ楽しいけれど、本当に入りたいと思わなければ、3年間は続かないのでしっかり考えて決めてください。（大山崎中出身1年）
- ・ 寮は厳しいけれど、友達を作れます。社会で通用できるようになると思います。（殿田中出身1年）
- ・ 海洋高校はとても楽しいところで、海のことをたくさん学ぶことができ入学してよかったと思う。自分の行きたい高校は自分で決めることが大事です。（東綾中出身1年）
- ・ 海に興味のある人、漁業関係に入りたい人、どんどん来てください。野球したい人も来てや！（広野中出身1年）
- ・ やりたいことがあればとても楽しい学校です。是非来てみてください。（中京中出身2年）
- ・ 京都市内や大阪からは入学は勇気がいるけど、入学してから損はしないです。（深草中出身2年）
- ・ 海洋高校は厳しいし、本当に頑張らないと続けていくのもしんどいけど、何かあったときは必ず先生達が助けてくれる。（大住中出身2年）
- ・ 色んな地域から生徒が入学し、交流ができる。人間関係の幅が広がり、友達も増えて楽しいです。（伏見中出身2年）



1.5 その他の報道

(1) NHK総合TV「GO!GO!KAN-POP～はばたけ!

関西POPS～」<10/28、11/15放送>

NHK「もっともっと関西」、毎日放送「MUSIC EDGE+0-Style」等、何本もレギュラー番組を担当している人気DJのU.K.が、8月20日(月)、21日(火)両日にわたり海洋高校を訪れ、黒潮寮生とともに本校の様々な取組の体験や、施設・設備の見学をしていただきました。

普段は大阪の高校に焦点を当て、スタジオからの放送で組み立てられている番組ですが、とても特色のある教育を数多く実践しているということからスタッフの目に止まり、今回初めて



京都の高校の中から本校が取り上げられ、また、初めてスタジオを飛び出して番組を製作されました。

楽しさの中にも、「夢とは?」「家族とは?」について考えさせられる場面もあり、とても貴重な経験になりました。また、当番組において、過去最高の視聴率を記録したとの報告をいただき、本当にうれしく思います。さらに、番組放送後、番組を見たということで学校に関する問い合わせが何本も入り、U.K.さんをはじめ、スタッフの方にはとても感謝しています。

(2) テレビ大阪「平成“漁”志～海に挑む若者たちの夢と

挑戦!～」<11/24(12月上旬テレビ東京でも)放送>

後継者不足、高齢化等多くの課題を抱えている水産業に高校卒業の若さで立ち向かい、挑もうとする勇ましい姿を、本校生徒3年生2名と卒業生1名を中心に、ドキュメンタリー番組として構成されました。8月下旬から集中実習に生徒と

一緒に参加されるなど、本校を密着して取材していただきました。水産や海洋を学ぶ学校として、改めて全うすべき役割の重要性を再認識することができただけでなく、放送を見ていただいた方々に、日本にとって欠かすことのできない水産業について考えていただく1つの機会になればと思います。録画CDが本校にありますので、御利用ください。



【取材風景の一コマ】

(3) 「丹後の自閉症児を育てる会」の子どもたちが体験活動

< 京都新聞 10 / 17 掲載 >

海洋高校として初めて、自閉症の子供たちをお迎えし、保護者やヘルパーの方々とお実習船の見学や、桟橋でアジ釣りを楽しんでいただきました。

自閉症の子どもたちの社会性や経験を豊かにする地域の一つの輪になれるよう、今後も、様々な形で支援していきたいと思います。

初めての釣りでしたが、入れたらアジが数匹かかっており、大漁でした！家庭でのアジフライはおいしかったかな？



「釣り」体験



「みずなぎ」見学の様子

(4) ラジオ放送：FMいかる「情報キャッチ！とれたてワイド763」

<7/4、7/12、7/19、8/31 放送>

綾部地方を中心に放送されている放送局ですが、海洋高校の校区でもあることから、7月4日(水)に、本校の「ちびっ子レスリング教室」について放送の依頼があり、14日(土)から始まるレスリング教室について、参加を呼びかけていただくと同時に、海洋高校の様々な取組を紹介していただきました。

その後、「三村先生インタビュー」「目指せ！甲子園」「海洋祭の紹介」と何度もお世話になり、中丹地域に広く海洋高校を知っていただくことができました。



【ちびっ子レスリング】



【左から井上校長、レスリングオリンピック銅メダリスト井上選手、指導者三村先生】

(5) 放送アラカルト

今年度も、様々な場面で輝き、その実績が新聞・テレビ・ラジオに取り上げられています！

取材を受ける時の緊張感と、報道されたときの喜びが確かな自信を培います！

君も高校時代の忘れられない1ページに自分が載っている新聞・写っているビデオ・声や名前が残っているテープを付け加えよう！



新聞に掲載された記事(12月4日現在)

- ・ 読売新聞 4月19日(木) 学力向上フロンティア
- ・ 京都新聞 4月19日(木) 学力向上フロンティア
- ・ 朝日新聞 4月20日(金) 学力向上フロンティア
- ・ 産経新聞 5月 8日(火) トリガイ養殖体験
- ・ 京都新聞 5月13日(日) トラフグ入荷
- ・ 毎日新聞 5月13日(日) トラフグ入荷
- ・ 読売新聞 5月13日(日) トラフグ入荷



【トラフグ入荷取材】

- ・ 京都新聞 5月15日(火) カキ養殖体験
- ・ 朝日新聞 5月18日(金) 海藻漬物試作実習
- ・ 毎日新聞 5月18日(金) 海藻漬物試作実習
- ・ 京都新聞 6月13日(水) 小中高連携事業
- ・ 朝日新聞 6月13日(水) 国際航海実習出航式
- ・ 読売新聞 6月13日(水) 国際航海実習出航式
- ・ 京都新聞 6月13日(水) 国際航海実習出航式
- ・ 産経新聞 6月16日(土) トリガイ調理法
- ・ 読売新聞 6月17日(日) 丹後とり貝もてなし
- ・ 毎日新聞 6月17日(日) アンテナショップ
- ・ 朝日新聞 6月20日(水) 若狭高浜駅 チャレンジショップ
- ・ 県民福井 6月22日(金) 若狭高浜駅 チャレンジショップ
- ・ 中日新聞 6月22日(金) 若狭高浜駅 チャレンジショップ
- ・ 福井新聞 6月22日(金) 若狭高浜駅 チャレンジショップ
- ・ 京都新聞 7月13日(金) 水視漁業・ビン玉がらみ体験実習
- ・ 読売新聞 7月18日(水) ちびっ子レスリング教室
- ・ 京都新聞 7月27日(金) エチゼンクラゲ混獲防除網開発
- ・ 京都新聞 7月31日(火) 小中高連携事業

- ・ 京都新聞 8月25日(土) 学力向上フロンティア事業
- ・ 京都新聞 8月25日(土) 日本海南部地区カッターレース優勝
京丹後市教育委員会教育長表敬訪問
- ・ 朝日新聞 9月1日(土) 日本海南部地区生徒研究発表会最優秀賞
宮津市教育委員会教育長表敬訪問
- ・ 京都新聞 9月2日(日) 障害のある人体験講座
- ・ 朝日新聞 9月8日(土) 底曳網実習
- ・ 舞鶴市民新聞 9月14日(金) 母校へグラウンド整備用具寄贈
- ・ 読売新聞 9月25日(火) ヒトデ堆肥化
- ・ 京都ふぐニュース 9月26日(水) トラフグ養殖
- ・ 京都新聞 9月29日(土) 豊かな体験活動推進事業
- ・ 京都新聞 9月30日(日) 丹後高等学校文化祭典
- ・ 朝日新聞 10月2日(火) 森林調査
- ・ 京都新聞 10月3日(水) 森林調査
- ・ 両丹日日新聞 10月4日(木) 森林調査
- ・ 読売新聞 10月5日(金) 豊かな体験活動推進事業
- ・ 京都新聞 10月5日(金) 豊かな体験活動推進事業
- ・ 京都新聞 10月18日(木) 丹後の自閉症児を育てる会
- ・ 京都新聞 10月19日(金) 小中高連携事業
- ・ 毎日新聞 11月11日(日) 若狭高浜駅 チャレンジショップ
- ・ 毎日新聞 11月19日(月) ヒトデ堆肥化
- ・ 京都新聞 11月29日(木) 京都府青壮年・女性漁業者交流大会
- ・ 朝日新聞 11月30日(金) 新巻鮭仕込み
- ・ 京都新聞 11月30日(金) 新巻鮭仕込み
- ・ 朝日新聞 12月1日(土) 小中高連携事業
- ・ 読売新聞 12月1日(土) 小中高連携事業
- ・ 朝日新聞 12月4日(火) ヒトデ肥料化



【トリガイ研究発表新聞取材】



【宮津市教育長表敬訪問】

テレビ放映

- ・ K B S 京都 6月15日(金) トラフグの歯切り
- ・ M B S 6月15日(金) トラフグの歯切り
- ・ K B S 京都 6月15日(金) 父の日にヒラメの出荷
- ・ 福井テレビ 6月21日(木) 若狭高浜駅 チャレンジショップ
- ・ K B S 8月 7日(火) トリガイ育成開始
- ・ N H K 総合 9月28日(金) 豊かな体験活動推進事業:福祉体験
- ・ N H K 総合 9月28日(金)、10月 5日(金)

GO! GO! KAN - POP ~ はばたけ 関西ポップス ~

- ・ K B S 京都 11月 8日(木) みんなでコラボ in 中丹
- ・ テレビ大阪 11月24日(土)

平成漁“志” ~ 海に挑む、若者たちの夢と挑戦! ~



【トリガイ収容テレビ取材】

ラジオ放送

- ・ F M いかる 7月 4日(水) 「情報キャッチ!とれたてワイド763」
~ ちびっ子レスリング教室 ~
- ・ F M いかる 7月12日(木) 「情報キャッチ!とれたてワイド763」
~ 三村先生インタビュー ~
- ・ F M いかる 7月12日(木) 「情報キャッチ!とれたてワイド763」
~ 目指せ! 甲子園! ~
- ・ F M いかる 7月12日(木) 「情報キャッチ!とれたてワイド763」
~ 海洋祭の紹介 ~
- ・ K B S 京都 10月 2日(火) 学校開放講座

1.6 黒潮寮(男子寮)

学校の敷地内に、黒潮寮という寄宿舎があり、遠隔地出身の生徒40名が共同生活を営んでいます。一緒に勉強し、共にクラブ活動に熱中することにより、40名の強い連帯感が生まれ、1つの運命共同体のような絆を確かめ合っています！

耳を澄ますと波の音が聞こえる、恵まれた条件を活かして、土・日曜日は、午前中全国大会を目指して、時間ギリギリまで汗びっしょりかいて自分と闘い、午後からは友だちと釣りに出かけよう！

時が経つのも忘れるほど好きなことに没頭した後は、みんなと楽しく食事を取り、気持ちをリフレッシュして、進路目標に向かって突き進もう！



平成15年度に新築された新しい建物です。



玄関からロビーを臨んだところ。



平成19年度新1年生の入舎式風景



一つ屋根の下でみんな仲良し！



楽しそうな食事風景



舎室での学習風景



毎朝、登校前に校地の清掃活動をして、感謝の気持ちから1日が始まります。

舎室は2人部屋が20部屋。
他に学習室、食堂、ミーティングルーム、談話室、風呂・洗面所などがあります。
教員が交代で舎監として、面倒をみています。
寮費（平成19年度）は、月30,000円（3食付き）

国公立大学第1号も、立命館大学合格も、そして、インターハイ・国体に出場しているのも黒潮寮生！

これは、寮だより！

学習・クラブ活動に有利！

わだつみ

☆祝合格☆

現在3年生は、前期内定や国立・私立大合格など、本意にすばらしい結果を次々に出してきています。このような嬉しい知らせは、すべての黒潮寮生に、寮生にとって大変心強く、励みになったことと思います。

3年生においては、1年後の自分を想像し、現在の自分の勉強を振り返ることや、1年生にとっても、高い目標を見つけやすいための勉強をスタートすることの重要性を強調するよい機会になったと思います。多くの入札者の笑顔を受け、そのような人たちに心から感謝しながら、日々の努力を継続していれば、結果が必ずついてくるということを証明してくれたいと思います。黒潮寮生もこれに続いて頑張りたいと願っています。各団体誌記を入れてお送りしますのでお返事があれば幸いです。(以下略)

寄宿舍だより
発行：平成29年11月19日
編集：京都府立海部高等学校 赤野 誠

17 下宿(男子・女子)

親元を離れた自立生活は、「親のありがたさ」が心の底から理解できたり、「当たり前になっていること」が実はそうではないということが身をもって体験でき、人間的に大きく成長できるチャンス！！



マイペースで落ち着いて生活・学習できる！
そしてアットホーム！



『こらっ！靴をそろえて上がれ！』
『こらっ！おかずが残っとる！』
『こらっ！ゴミの分別ができとらん！』
など厳しく育てていただいています。栗田の父さん、母さんです。

下宿生の人数【平成19年度】(寮生よりも多い人数です。)

	1年生	2年生	3年生	合計
下宿生徒数(男女)	18名	15名	14名	47名

下宿の位置と人数【平成19年度】

栗田地区(徒歩または自転車で登校)	宮津市街地(自転車または列車で登校)	舞鶴市(列車で登校)	合計
41名	4名	2名	47名

学校と連携し、様々な面で協力していただける下宿を学校から紹介しています。

下宿生の約半数は、自炊をしています。

家賃は、食事の有無、施設・設備等により異なります。

自炊...月額20,000から

2食付き...月額55,000円から

是非、複数をみて確認され、決定してください。

昼食は、多くの生徒が斡旋業者の弁当(1食350円~450円程度)を利用しています。

担任による状況の掌握や定期的な下宿訪問指導を行い、保護者に訪問結果の報告を行うとともに、下宿管理者と学校との連絡会議を実施し連携を強めています。



寮と同様 学習・クラブ活動に有利です。

仲間の多い下宿も選択可能です。

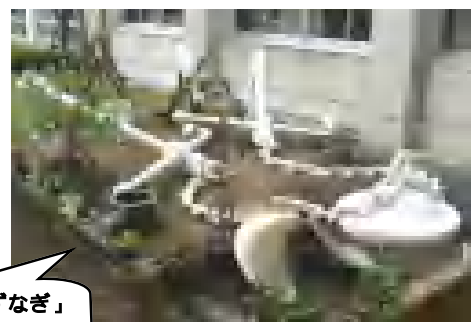
3年後、どのような進路を選択するにしても、人生の次のステップに歩みを進めることになりませんが、高校3年間の下宿生活は、その人生の節目を根底から支え、有利な展開に導きます。

平成15年度に卒業した生徒で6名の国公立大学合格の快挙、うち4名は下宿生でした！

新しい海の時代へ・・・



“このかけがえのない高校生活、
やりたいことを伸び伸び、とことんやって、
輝きながら目標を目指そう！”



先代実習船「みずなぎ」
の係船用錨のモニュメン
トもあります。



京都府立海洋高等学校

〒626-0074 宮津市字上司1567-1

TEL : 0772-25-0331 FAX : 0772-25-0332

URL : <http://www1.kyoto-be.ne.jp/kaiyou-hs/>